

足立区立東綾瀬小学校
校長 木村 浩昌 様

足立区立東綾瀬小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 山崎 利夫

令和7年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

学校の教育活動が具体的な数値や取組とともに整理されており、学校全体としてどの方向を目指しているのかが分かりやすく伝わってきます。学力向上・豊かな心の育成・体力向上の3つの柱が相互に関連しながら進められている点は、大変評価できると感じました。

特に学力向上については、基礎・基本の定着を重視した指導や授業改善の成果が見られ、区や都の平均と比較しても安定した成果が出ていることが分かります。一方で、体力面では一部の学年・性別に課題が見られ、引き続き継続的な取組が必要であると感じました。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

(1) 学力向上について

学校独自の取組が継続されており、ICTの活用や授業改善の工夫も進んでおり、今後さらに個に応じた支援が充実していくことを期待します。

家庭・地域としても、読書習慣の定着や家庭学習の声かけなど、学校の取組と連動した支援を継続していきたいと考えます。

(2) 豊かな心の育成について

「あいさつ・返事・くつそろえ」といった基本的な生活習慣を大切にし、日常の指導の中で繰り返し取り組んでいる点は、子供たちの行動の変化としても感じられます。地域でも登下校時の見守りや声かけを通して、学校と同じ方向を向いて支えていきたいと思えます。

また、子供主体のいじめ防止活動や話し合い活動が行われている点は大変意義があり、今後は学年を超えた取組の機会がさらに充実していくことを期待します。

(3) 体力向上について

体力調査の結果から、特定の学年や性別において課題が見られる点は引き続き重要な課題であると感じました。体育の授業の工夫や運動習慣づくりの取組に加え、休み時間や放課後の遊びの充実など、日常的に体を動かす機会を増やしていくことが大切だと思えます。

地域としても、スポーツ体験の場づくりや行事への協力などを通して、子供たちが楽しみながら体を動かせる環境づくりに協力していきたいと考えます。

3. その他

今年度は学校にとって節目となる大切な一年であり、これまで築いてきた地域とのつながりをさらに深める良い機会だったと感じています。

今後も、学校・家庭・地域が情報を共有し、意見交換できる機会を大切にしながら、子供たちが安心して学び成長できる環境づくりに協力していきたいと思えます。